

事業名 若者自立塾

実施主体 飯古建設有限会社

県担当課 観光振興課

事業の成果

事業の目的 [その他]

- 豊かな自然の中で、農業・漁業などの労働体験をしながら空き民家で共同生活を送ることで、「人間力」を身につけるとともに、働くことの自信・意欲を高める。

事業の内容

- 平成18年2月26日から3月18日まで、若者島体験塾として、町外の若者を受け入れ、炭焼きなどの各種体験、潮風ファーム等での労働体験、地元住民との交流活動等を行った。

歓迎会・島巡り・炭焼き・そば打ち



モンア最初はカチカチ(笑)
でも多くの人に来てくれた～



おっちゃんが海士のこと
色々説明してくれた！



初めの炭焼き



キーンニヤ～モニヤ～



そば作りも楽しいわ～。



初めての薪割り



サライ熱唱中！



朝メシうめ～！



男は格闘だ！

目的の達成状況 [十分達成できた]

- 自然・文化・歴史・住民の気質、土地柄等、ニート・フリーター対策に十分な環境があることが再認識された。

反省点・改善点

- その分野の専門家が少ないため、まだまだ高められたり上げられるであろう効果があることも認識できた。
- 人材の育成は離島という条件から無理があるため、関連機関と連携して実施することが、一番効果的と思われる。
- この事業を活用して宿舍の改築、必要備品の購入(冷蔵庫等)等のハード面も整備できると理想である。

協働の効果

県との協働内容 [協働して実施した]

- 広報活動
- 連携団体について

県との協働効果 [十分効果があった]

- 県の広報活動により、全国より問い合わせがきた。

県への要望事項

- その分野の専門家が少ないため、まだまだ高められたり上げられるであろう効果があることも認識できた。
- 人材の育成は離島という条件から無理があるため、関連機関と連携して実施することが、一番効果的と思われる。
- この事業を活用して宿舍の改築、必要備品の購入(冷蔵庫等)等のハード面も整備できると理想である。

反省点・改善点

- 他の支援団体とのネットワーク構築

市町村との協働 [協働して実施した]

- 町と一緒にスケジュールを検討し、実施
(全てについて、町と連携して実施)

事業の継続

事業成果の活用 [活用されている]

- 体験生の一人が海士町で生活。島内での作業や情報発信を行っている。

事業の継続状況 [継続実施していない]

- 運営方法、形態、連携団体、補助金等について検討中。

協働による発展 [協働により発展できる]

- 団体への専門家の配置、派遣(実務経験のある人)

